

## 令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(豊里中学校)

### 平均正答率

※自校の平均正答率と県の平均正答率との比較 (単位 %)

教科	国語			数学			英語	
学年	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
豊里中	53.8	49.7	51.9	51.7	43.9	52.3	52.2	49.6
埼玉県	58.8	57.1	56.3	57.7	52.7	57.1	59.0	55.9

### 生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	中1		中2		中3	
		豊里中	埼玉県	豊里中	埼玉県	豊里中	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	100	89.1	84.7	89.8	90.0	92.4
	・だれに対してもすすんであいさつをすることができる	92.7	81.9	77.0	81.6	85.0	83.5
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	95.2	89.3	92.3	88.1	87.5	88.8
学習習慣	・勉強する前に、これから何を勉強しなければならないかについて考える	73.2	60.5	48.7	58.7	70.0	61.8
	・勉強をするときは、最初に計画を立ててから始める	80.5	49.2	46.1	44.9	57.5	43.8
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	85.4	74.2	61.5	71.5	75.0	75.9
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	24.4	14.7	12.8	9.7	2.5	10.1
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	61.0	58.5	64.1	67.4	70.0	78.9
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	90.2	60.3	53.8	46.9	52.5	38.4
ICTの活用	・昨年度の国語の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	75.6	24.3	2.6	8.9	0.0	8.8
	・昨年度の数学の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	58.5	19.9	2.6	10.3	0.0	11.8
	・昨年度の英語の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた			7.7	13.1	2.5	13.9
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	85.3	32.0	12.9	12.8	2.5	11.7
その他	・自分には、よいところがある	87.8	72.7	64.1	73.8	80.0	75.6
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	92.7	74.3	71.8	66.6	62.5	67.3
	・将来の夢や目標をもっている	85.3	82.5	71.7	72.5	80.0	70.1

## 【質問紙分析】

- ・「自分には、よいところがある」の質問項目について、昨年度と比較して2年生（1年生時 63.2%）と3年生（2年生時 68.3%）の数値が上昇している。これは、道徳科を要とした道徳教育に注力した結果だと考えられる。

## 「よかった点（○）」と「課題（●）」

### 【国語】

1年

- 文章全体の展開を考えて文章を完成させる問題の正答率が高い。
- 文脈に即して漢字を正しく使う問題の正答率が高い。
- 文の構成を理解する問題の正答率が低い。
- 資料を用いることによる効果の問題の正答率が低い。

2年

- 体言・用言を理解する問題の正答率が高い。
- 内容を理解し、登場人物の心情とその対象を理解する問題の正答率が高い。
- 主述の関係を理解する問題の正答率が低い。
- 言葉の単位を理解する問題の正答率が低い。

3年

- 漢字の読みの問題の正答率が高い
- 書体の違いによる筆順や点画の変化を理解する問題の正答率が高い。
- 歴史的仮名遣いの問題の正答率が高い。
- 敬語の働きを理解し使う問題の正答率が低い。
- 主述の関係を理解する問題の正答率が低い。

### 【数学】

1年

- 図形やデータの活用の領域では、比較的正答率がよく、県平均に近づいている。
- 変化と関係の領域では、正答率が低く、県平均を大きく下回っている。
- 小数や分数を含む問題の正答率が低い。
- 全体的に無答率が高い。

2年

- 数と式の領域では、比較的正答率がよく、県平均に近づいている。
- 図形、関数、データの活用の領域では、正答率が低く、県平均を大きく下回っている。

3年

- 数と式の領域では、比較的正答率がよく、県平均に近づいている。
- 一次方程式や連立方程式を解く問題は県平均を上回っており、方程式の関係性や、解の意味を理解できている。
- 図形、関数の領域では、正答率が低く、県平均を下回っている。  
特に、関数では変域の表すことや2直線の交点を求めることを苦手としている生徒が多い。図形では、作図の問題の正答率が低い。

### 【英語】

2年

- 聞くことに対する正答率が、読むこと・書くことと比較すると高い。

- 読むこと・書くことの正答率が低い。
  - 「選ぶ」問題の「無解答率」が高い。
  - 記述（特に、与えられた情報を自分の言葉で説明する（書く）問題）の「無解答率」が高い。
- 3年
- 読むこと・書くことに対する正答率が、聞くことと比較すると高い。
  - 聞くことの正答率が低い。
  - 与えられた情報を自分の言葉で説明する（書く）問題の無解答率が高い。

## 課題への取組・改善策

### 【国語】

1年

- ・資料の読み取りの時間を設けて、どこを読み取り進めるのかを指導する。

2年

- ・説明文の時に、文章構成とともに単位についても触れながら指導する。

3年

- ・授業以外の場面でも、敬語を使う機会を設ける。

1～3年共通

- ・作文指導を行うときに、主語と述語の係り受けを説明し、意識して書くように伝える。

### 【数学】

1年

- ・授業の中で、基礎的な計算問題を取り組む時間を確保し、つまづきを減らす。
- ・中学校で比例と反比例の問題を扱う際に、小学校の内容を丁寧に確認しながら進める。

2年

- ・授業の中で、基礎的な計算問題を取り組む時間を確保し、計算力の向上を図り、「できた」「わかった」という達成感を積ませることで、どの領域に対しても前向きに取り組めるようにする。
- ・授業で習ったことを復習するための課題を定期的に出し、継続した学習ができるように支援する。

3年

- ・関数の領域では、比例、反比例、一次関数、2乗に比例する関数それぞれにおいて、表、式、グラフの関係性を比較しながら授業を行う。
- ・授業で、自分の考えや求め方を記述する機会を増やし、証明や記述問題への抵抗を減らす。

### 【英語】

2年

- ・授業で、文法・文構造を学習する練習（ドリル）を中心とした帯学習を実施する。

3年

- ・授業で、リスニングを中心とした帯学習を実施する。

2、3年共通

- ・資料を読み取り、質問に対し、正確な英語で答える練習を行う。